

平成22年10月1日 国勢調査が実施されます!



日本国政府于2010年10月1日开始进行人口普查。

Ngayong, ika-1 ng Oktubre 2010, ang pamahalaan ng Hapon ay magpapatupad ng sensus ng populasyon.

As of October 1, 2010, the Japanese government will be conducting a Population Census.

Q 国勢調査とは、どんな調査なの?

A 国勢調査は、人口・世帯の実態を明らかにする国の最も重要な統計調査で、日本に住むすべての人・世帯を対象として5年ごとに実施されます。

Q どのように調査をするの?

A 9月下旬から調査員が皆さんのお宅に調査票の記入のお願いに伺います。記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をしたうえで、後日調査員に渡していただくか、市へ郵送で提出していただきます。

Q 調査結果はどのように利用されているの?

A 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

Q 個人情報を守られるの?

A 調査に従事する人には、個人情報を守るための厳格な守秘義務が課せられており、調査票の記入内容は厳重に守られます。調査票に記入していただいた内容は、統計の目的以外に使用しません。調査票は、外部にもれないように厳重に管理され、集計が完了した後は完全に溶かされ、再生紙として生まれ変わります。



皆さんのご協力を
よろしくお願いします。

●国勢調査コールセンター

調査の内容、調査票の記入方法などについて、分からない点がありましたら、コールセンターにお問い合わせください。

☎0570-01-2010 (ナビダイヤル)

※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金で利用できます。携帯電話の場合、所定の通話料金となります。

☎03-6738-6677 (IP電話・PHSの場合)

※IP電話・PHS用電話番号の通話料金は、それぞれ所定の通話料金となります。
設置期間 / 9月11日(土)～10月31日(日)
受付時間 / 8:00～21:00



国勢調査員をよそ
おった不審な訪問者
や、不審な電話・電子
メールなどにご注意
ください。

国勢調査員は「国勢調査員証」を身につけています。不審に思った場合には、回答しないで、市統計係へお問い合わせください。

※詳しくは、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査 e-ガイド」をご覧ください。

☞ <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

問い合わせ先 政策企画課統計係 (☎0848-25-7314)



議会だより

委員会視察報告

○総務委員会



期 間:平成22年7月13日～14日

訪問都市:岐阜県多治見市、神奈川県伊勢原市
総務委員会(村上泰通委員長)では、多治見市の「グループ制」、伊勢原市の「チーム制」の視察を行いました。

多治見市の「グループ制」は、市役所の組織・機構改革の取り組みです。課の中の係を廃止し、代わりにグループという名称の、課長の権限で編成することのできる組織を設けるものです。

グループ制は、グループが担当する仕事量の増減に応じて、課長が課の中のグループの人数を調整するので、効率的な組織運営がすばやくできるという利点があります。多治見市は平成17年度からの5年間で約3割の職員数削減を達成しています。

伊勢原市の「チーム制」も係を廃止し、課長の権限で編成することのできるチームを設けると、「グループ制」と同様の取り組みですが、グループ制との違いは、一人の職員が複数のチームに所属できる点で、個々の能力を活用するという面でより効率的な組織運営を目指しています。伊勢原市では、係長に相当するチームリーダーに若手職員を抜擢して、組織の活性化も図りながら、平成19年度からの導入で約1割の職員数削減を達成しています。

○民生委員会



期 間:平成22年7月6日～7日

訪問都市:大分県臼杵市、福岡県北九州市

民生委員会(福原謙二委員長)では、臼杵市の「安心生活お守りキット事業」、北九州市の「エコハウス」を視察しました。

臼杵市の「安心生活お守りキット事業」とは、救急活動に必要な氏名、生年月日等の個人情報、かかりつけ医療機関や

緊急連絡先等を書いたカードを500ml大のプラスチック製容器に入れ、これを冷蔵庫の中に入れて保管するものです。また外出用に、同じ情報を記載した保険証サイズのカードも配布しています。万が一の時に、このカードの情報を元に、消防隊員、救急隊員や地域の人々等で協働して救急活動を行います。配布対象者は、70歳以上の一人暮らしの方、高齢者だけの世帯、障害がある方または健康に不安のある方のうち希望される方です。実際に、このカードのおかげで、緊急の際に家族と連絡がスムーズに取れたなどの成果もでています。しかしこの事業は導入したばかりで、今後カードの情報をどのように更新するかなどの課題もあるようでした。

北九州市の「エコハウス」は、環境ミュージアムの敷地内に建設されている21世紀環境共生型モデルハウスです。これは室内の空気の流れを意識して「風の道」を設けてあり、外壁には壁体内結露防止のために通気工法を用いているなど、エコに配慮した造りになっていました。またエコハウスは環境だけでなくバリアフリーにも対応しているモデルハウスであり、例えば2階への移動機械が設置してあるなど、高齢化が進む現代社会に対応できるよう考えられていました。

○文教委員会



期 間:平成22年7月5日～6日

訪問都市:福岡県北九州市、大分県大分市

文教委員会(高本訓司委員長)では、北九州市の「北九州子どもの未来をひらく教育プラン」、大分市の「大分市教育ビジョン」を視察しました。

北九州市の「北九州子どもの未来をひらく教育プラン」は、「思いやりの心を持つ、自立した子どもをはぐくむ」を教育の目標とし、「教育日本一を実感できる環境づくり」を基本方針に「知」「徳」「体」の課題に対応するため、子どもの意欲や生活習慣の課題に対して、学校、家庭、地域が総がかりで取り組むことを目指しています。

大分市の「大分市教育ビジョン」は、「思いやる豊かな心と生きがいをはぐくむまちづくり」を基本理念に掲げ、市民協働の趣旨を踏まえた教育の推進など、平成28年までの市の教育のあるべき姿と進むべき方向を示しています。その中でも小・中一貫校の推進に取り組んでおり、平成19年度にモデル校を開校しているとのことでした。

○産業建設委員会



期 間:平成22年7月13日～14日

訪問都市:埼玉県川越市、神奈川県茅ヶ崎市

産業建設委員会(佐々木智朗委員長)では、川越市の「川越伝統的建造物群保存地区にある蔵造りの町並み保存について」、茅ヶ崎市の「耕作放棄地解消対策について」を視察しました。

川越市は、旧城下町として栄えましたが、明治26年の大火後は、火事に強い蔵造りの商家が数多く立てられ、今では歴史的な町並みとして平成11年に国からの指定を受け、電線の地中化や地区内に点在する歴史的資産を結んでの歴史的道すじや既存の観光ルートを整備するなど、まちづくりに取り組み、観光客も年々増加し、年間600万人を超えているということでした。

茅ヶ崎市では、耕作放棄されている農地を解消するため、ボランティア制度を開始し、さらに市民農園化を目指しています。

農業をしてみたいボランティアと、支援を希望する農家が各々市に登録してもらい、市が仲介役となって実施する農地を決定します。ボランティアは農家の指導の下、草刈や耕運機の体験をし、最終的に市民農園、体験農園としてその一部を賃借するというものです。

制度は昨年からはまったばかりで、ボランティアが多い割に、農家の登録数が少ないといった問題等、今後にどういった課題が生じるか少し懸念もしていました。

問い合わせ先

議会事務局(☎0848-25-7371)